

No.	質問	回答
1	デエビゴには副作用はありませんか？	デエビゴ錠は、従来の睡眠薬（ベンゾジアゼピン受容体作動薬）に比べ、ふらつき、転倒のリスクや依存性の懸念が少ないお薬です。一方、従来のお薬と同様に翌日に眠気が残ることがあることや、この薬の特徴的な副作用として、頻度は少ないですが悪夢を見ることが報告されています。
4	新しい病院(科)にかかるときに最初に必ずお薬手帳をみてもらってすでに服用している薬を把握してもらえば、出してもらう薬も同じものとかわらないように対策できるのでないかと思うのですが、これは当たり前でなく「見せたほうがよい」という自己責任でしょうか？	通常、病院や診療所では診察時に医師がお薬手帳を確認し、同じような薬が重複しないよう注意して処方を行っています。また、院外の保険薬局で薬剤師が再度チェックを行うことで、見落としを防いでいます。処方内容の確認には常に最新の情報が必要ですので、今までどおり新しい病院（診療科）や診療所にかかる際や調剤薬局へ処方箋を持っていく際にはお薬手帳を持参しましょう。
5	「食後に服用」の薬が複数出ているときに、一度に飲んでも薬同士の副作用のようなものはないのでしょくか？	ご心配されているように、薬の飲み合わせによっては、一度に飲むことで薬の効き方が悪くなったり、副作用が出やすくなることがあります。薬剤師はこのような飲み合わせについても十分に確認を行ったうえで薬剤をお渡ししておりますが、特に複数の医療機関からお薬をもらっておられる場合、お薬手帳などの情報がないと十分な確認ができませんので、院外処方を受け付ける保険薬局では必ずお薬手帳を提示するようにしましょう。
6	診察のないときに薬剤師さんに相談したいときにはどうすればよいですか？	かかりつけ薬局がある場合は、まずはかかりつけ薬局へご相談ください。 かかりつけ薬局がない場合は、保険薬局が併設しているドラッグストアや一類医薬品（薬剤師の説明が必須の市販薬：ロキソニン等）を置いているドラッグストアで薬剤師が薬剤相談を受け付けている店舗もあります。 なお、当院から処方されているお薬について当院の薬剤師へのご相談を希望される場合は、緊急の場合を除き、平日8：30～17：15の間に当院の代表番号（0853-22-5111）へ連絡いただき、薬剤師への相談を希望する旨をお伝えください。
7	飲み忘れたときにどのタイミングで服用したらよいの？	薬を飲む回数や薬の種類によって対応が変わってきます。たとえば、1日1回飲む薬の飲み忘れにいつ気がついたか、気がついた時間によっても対応が異なる場合もあります。また、抗生物質など一時的に飲んでいる薬は薬の効果を最大限発揮させるために時間をずらして1日分を飲むという対応が必要な場合もあります。 薬を処方してもらった医師または調剤してもらった薬局の薬剤師へ確認されることをおすすめします。 飲み忘れが多くなっている場合は必ず医師、薬剤師へご相談ください。
8	ポリファーマシーはどのくらい浸透しているか？	ポリファーマシーとは単に薬が多いだけでなく、薬が多いことや薬の管理に問題があることで体に悪い影響が出ている状態のことを言います。多くの医師、薬剤師はポリファーマシーについて認識しており、医師は主に病気の状態の確認を、薬剤師は副作用や薬の管理に問題がないかの確認を行っています。薬の飲み忘れが多い場合や薬の管理ができていない場合、医師や薬剤師には言いにくいかもしれませんが、そのままにしておくと、今の薬のままでは症状が改善しないと判断されて更に薬が増え、ポリファーマシーの状態が悪化することもあるので、残っている薬の状況や薬を飲んでいて気になる症状について医師、薬剤師へ相談するようにしましょう。
9	他病院内での取り組みは？	入院患者さんごとに担当医師、薬剤師、看護師などが情報共有しながらポリファーマシーの削減に取り組んでいる施設や、当院と同様にチームで入院患者さんのポリファーマシー削減に取り組んでいる病院があります。また、ポリファーマシー外来を設けている施設もあります。

No.	質問	回答
10	調剤薬局での取り組みは？	院外処方を受け付ける保険薬局の薬剤師も処方医に対して、剤形や飲み方の変更、薬を減らす提案を行うことができます。残っている薬がある場合は、日数を調節してもらうこともできます。飲み難さや副作用など困っていることがあれば、かかりつけ薬局で相談してみましょう。薬を減らす提案をするためには、患者さんがどのような薬を使用しているか把握することが大切です。保険薬局で薬を把握しやすいように、お薬手帳は1冊にして持参するようにしましょう。